

1. 電池を入れます

通常フックの場合

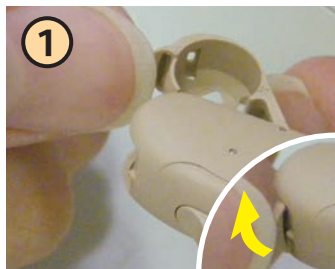


① 電池室のどっぴりに爪または指の腹を引っ掛けドアを開けます。底のある方を下にして持ちます。



② 電池の平らな面を上にして電池を入れます。

オープンの場合



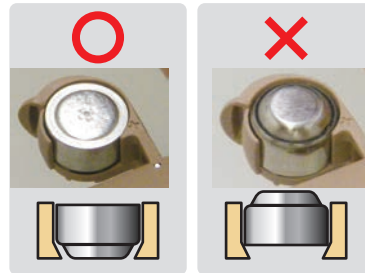
① 電池室のどっぴりに爪または指の腹を引っ掛けドアを開けます。電池室の+印を上にして持ちます。



② 電池の平らな面を上にして電池を入れます。

電池の上下は間違っていますか？

電池は平らで+と彫ってある方が上です。電池室は+のマークがある方、もしくは底の無い方が上です。



電池の向きが逆のまま無理に電池を入ると破損の原因となります。

電池が外れない時は



1. 磁石付ブラシを用意します（別売）。
2. ブラシの先についている磁石を電池にくっつけ、電池室から電池を外します。

2. 補聴器を耳に入れます

通常フックの場合



① 耳せんの根元を持ちます。

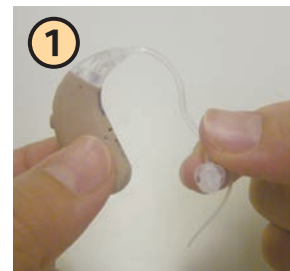


② 耳穴にまっすぐ入れます。

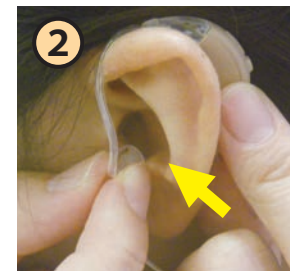


③ 補聴器を耳の上からかけます。

オープンの場合



① かける耳と同じ側の手で補聴器を持ち、反対の手で耳せんの根元を持ちます。

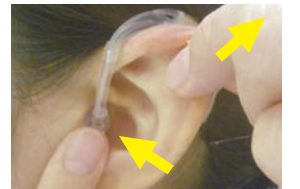


② 補聴器を耳にかけ、耳せんの根元をまっすぐ入れます。



③ チューブがこめかみに付くよう耳せんと奥まで入れ、サポートロックを耳の窪みに納めます。

耳せんが上手に入らない時



耳たぶを軽く上に引っ張りながら入れます。

補聴器を耳から外す時



通常フックの場合
① 耳せんの根元をつまんでひっぱり出します。



オープンの場合
① かけている耳と同じ側の手で補聴器を持ち、反対の手で耳せんの根元を持ち取り出します。

補聴器を外す時、補聴器だけを引っ張るとチューブが破損する場合があります。

3. 補聴器をお掃除します

きれいになって補聴器も長持ちします

通常フックの場合



① 柔らかい布やティッシュで補聴器をきれいにします。



② 耳穴に入れる方を下に向けてブラシをかけます。



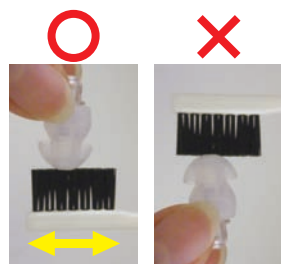
③ 外した補聴器は、電池室を開けて電池を外し、乾燥ケース（別売）に入れます。



④ フタを閉めたら外した電池をフタに張られたマグネットの上に置きます。

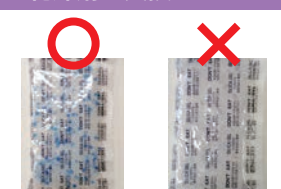
ブラシがけは方向が大切

ブラシがけの時は、ブラシを必ず下に！



ブラシを上にと、耳あかが補聴器内部に入り故障原因になる場合があります。

乾燥剤の交換について



乾燥剤は青い粒の色が薄くなったりピンク色になったら交換時期です。

オープンの場合



① 柔らかい布やティッシュで補聴器をきれいにします。



② ブラシ、柔らかい布やティッシュで耳せんのよごれも丁寧に落とします。



③ 外した補聴器は、電池室を開けて電池を外し、乾燥ケース（別売）に入れます。

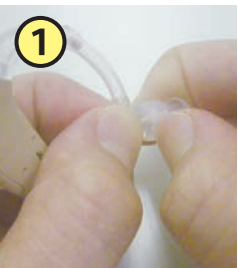


④ フタを閉めたら外した電池をフタに張られたマグネットの上に置きます。

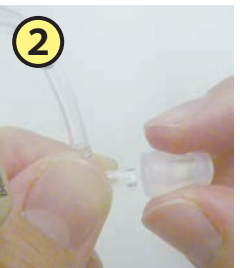
耳せんやチューブは消耗品です。硬くなった時、汚れのひどい時などは交換しましょう。

4. より細かいお手入れ

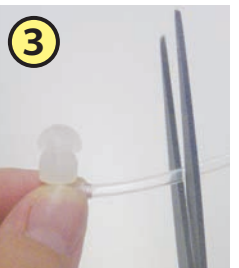
通常フックの場合



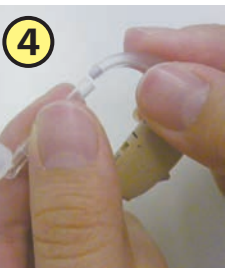
① 耳せんと交換する時は、耳せんの根元に爪を入れチューブから外します。



② 新しい耳せんとをまっすぐ、一番奥まで入れます。

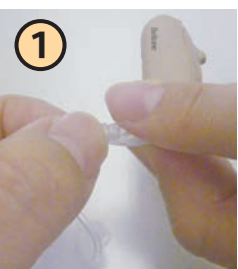


③ チューブごと交換する時は、新しいチューブを適切な長さに切ります。

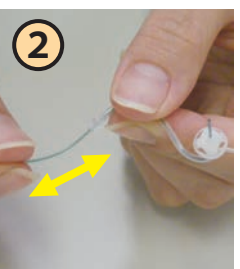


④ 古いチューブを外し、新しいチューブと取り替えます。

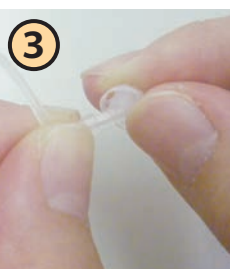
オープンの場合



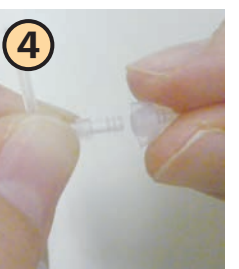
① チューブの根元を固定し、補聴器を時計と反対方向に回して外します。



② 釣り糸の類があれば補聴器接続方向から差し込み、チューブの汚れを掃除します。

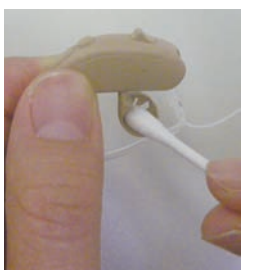


③ 耳せんと交換する時は、耳せんの根元に爪を入れチューブから外します。



④ 新しい耳せんとをまっすぐ、一番奥まで入れます。

汗や湿気は故障の原因



補聴器の故障の原因は、その多くが汗や湿気によるものです。汗をかいた時などは電池室を拭いたりしましょう。

お店でもクリーニング

お買い求めのお店では、補聴器の音の調整はもちろん、いつでも補聴器のお掃除などを行ってくれます。汚れを取り除くことで、音がはっきりと出ることもあります。時々お店に足を運ばれることをお勧めします。